闔

海相、

外相に重大決意披瀝

全般の問題に就き 合せの上取決める ことゝなつた

北海事件調査に

9 日六十

之 〇三 開 介勇忠 〇五 社 五五五 給給 鍵鍵護問

滿洲國皇帝陛

公主嶺御巡狩

く民情御視察

地方 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 佐

各種防禦工事を急ぎついあり では一方で北海駐屯の翁昭垣 では、一方で北海駐屯の翁昭垣

ある

英國商船

鹽原秘書官

十六日來京

本権山定美氏 (精錬) 同松屋旅館 常磐旅館 常磐旅館 常磐旅館

定美氏(國際運輸)同席氏(建設)同

射撃さる

日發國通」北海事

京する 日午後九時務「ひかり」で來 京する

阿部軍孝氏(東京帝大教授)同河野延二郎氏(教員)同

司長渡日本

既に重大決心を固めた模様で

午前八時五十分着列車で東京

▲西井一維氏(同)吉田屋被

形縣人に告ぐ

一分新京牌に御 方の民衆は極度に不安に襲

度に不安に襲は

御誘導にて

の上陸を阻止し市中の防備を を得了南遺部級を附近海上に 集中最悪の場合に備へ一方十 無日午前外務機關を通じ南京 政府に對し十九路軍の速かな る撤退を要求同日行はれる川 を視了南遺形像を附近海上に 集中最悪の場合に備へ一方十 がある。 、張群南氏第一次交渉の席 【上海十五日愛國通】北海本 作に對する支那側の態度は全 イ不誠意を極め我調査艦○○は 北海沖七里の冠頭角鶴地に碇 泊、空しく十九路軍の撤退を 治、空しく十九路軍の撤退を 度は寧ろ挑戦的となり調査員 英國船に發砲、不祥事件を惹 地した、即ち英國船大利號は 小選輌士一名即死船員英國人 人選輌士一名即死船員英國人 大選輌士一名即死船員英國人 たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國總領事は億も たので廣東英國船大利號は 大利號は電大視されてゐる、尚ほ 大利號は電大視されてゐる、尚ほ 大利號は十四日黎更香港に到 拘らず無軌道な支那人は又も件で日支關係緊張の折柄にも

バスと衝突、機闘車、客車四五日午前五時長沙附近に於て五日午前五時長沙附近に於て 列車とバス衝突

武部總長歸京 旅大

ムミユニケを發表

次會見

電は北海事件に對し南方第に堪えざるところ我等豪灣に堪えざるところ我等豪灣に進法

一轉換を希望して己まらより優め、之を契機としまり優め、之を契機としまり優め、之を契機としないに傳統の決めてその推移を注観しま

ぬし迷あ心

東なる抗議を提出 武官より支那側に對し更に

日本南遣部隊

海南島北方に集中

宜に即した要求に動し果して 解決を要求するは必然的と見 解決を要求するは必然的と見 が限を付じて事件の連かなる

AT D

て重要會議

状並に民情御視察のためA 下には親しく地方の政状軍 下には親しく地方の政状軍

裡に御氣 車、皇帝

佐《木軍政部最

爽凉の氣澄み渡る十六日主饋御巡狩を仰出され初

中野總領事代理。

られつゝ一路御れる大陸の秋色

今次事件を中心に國交全般に及ぶ

次回會見は

十六日打合せ

るは明瞭にして、

事件に関し南方に派遣

海上一帯に全部隊

単を迎へ及川第三艦 脚任の絵にある中村版 単を迎へ及川第三艦 を迎へ及川第三艦 を迎へ及川第三艦

支那調査隊

北海沖に碇泊中 上陸を阻止され こと」なつ

車で大連より購収した 人事往來 ▲中野作治郎氏(官吏》同

▲麻谷忱氏(痛洲製糖董事)

▲伍堂昭和製鋼所長 十六日 年前八時五十分來京 本田邊州慶繁察部長 同 本馬淵重文郎氏(商業)十五 日爺縣、 ▲ 孫田康吉氏 (東那社員) 同 ● 日塔大郎氏 (日稱鋼材度役) 同

▲郷須方雄氏(同中佐)同 ▲山東賞氏(商業)同奉天へ ●関見正清氏(電薬公司)同 延吉、 ●井上岡太郎氏(商業)同奉 天へ 斉へルへ 大郎氏 (代議士) 同

五十三名 同十時十分吉林大阪商工會議所主催親祭團

田實氏(補鐵)同チチへ

電話(2)四九三五番

柳希望の方は左配へ御照會下さい

體

常話(2)二〇五七

新築貸店舗(住宅附)あり

▲ 田島湾錄氏(會社員)同 ▲ 田島湾錄氏(會社員)同三 整旅館 本 母根元三氏(同)同 ◆ 看井史郎氏(稀洲國官吏)

山形縣人會 第第與安大路二五 第第與安大路二五 第一五 第一五 四十二五人 6年

おでん店家附譲る 堂

野鶴子さん(一五)から海口件の主人公中野順三氏長女中 ・北海沖八哩の鶴地に碇泊形 立て上陸せんとしたが十九路 北瀬に急行直ちにランチを仕様海軍部長の命を受け十四日 遭難の中野氏の 家族は生存 粤澳鐵道閉通以來第一回の衝 等五名及び運轉手は即死した 等五名及び運轉手は即死した 乗 等五名及び運轉手は即死した 外務辭令

日本は單獨調査の外なし

側不誠意

廣東總領事館

を呆然たしめて居る、吉竹總 側に通知せる不信行為は致方

本側の單層

の排日

々険悪

相手 営の連接を最早 関の連接に関められず、日本側の単位関をは関められず、日本の連接で最早

大使館三等書記官(補洲國) ▲與平廣直氏(會社員)同能 長、開安東へ 長、開安東へ 井山長

民政部異動

その日く

首都乘用馬車營業組合 與德三年九月十五日

川尻電・ニュー番へ妊産婦の御相談は

産婦實費御預り

電業公司特約

北安南胡同八〇八

(水町忠三氏(官吏) 同職基(倉永保氏(同)同) 男氏(貿易業)則大和 東氏(大倉商事) 同新 東行氏(関) 同 明氏(制薬) 同 は萬歳に御巡狩、稔りの秋、鵜州國皇帝陛下民情御視察

漢江省公署事務官 民政部警務司々法科長を命 所以 一三

「阿幸雄氏(置き社員)同 対重明氏(教諭)同 村元吉氏(蒋織)同 大一利氏(蒋織)同 大 川越、要第一大會見、お眼 一般に叶つて披掘された川越氏 北海事件以来合選軍緊張、

古林省公署總務職總務科長を命ず、 奥政部總務司經總務司經總務科長 だ山 俊郎 を命ず

鋼社長伍堂草雄氏は十六日伍堂製鋼社長 昭和

列車の運行を阻む

殿重を極めてゐる四日夜來俄に緊張を呈し軍司令部には憲兵が詰掛け警戒四日夜來俄に緊張を呈し軍司令部には憲兵が詰掛け警戒

口灣軍異常に緊張

の悪化で

日足の大軍

関しながら、

市の周圍に

の談によれば、北海に 留民教護の新たなる必要が生 出代十四日當地に入港 た。我方としては調査員の上 出代十四日當地に入港 た。我方としては調査員の上 の到着により遺族は今尚ほ北

民政部衛生司總務科長を命 長大郎

下駄屋の女のことを御景知を終下丹田が石炭の名産地、

新京祝町太子堂前

くなりそう

東局ご新京署研究

下丹田"

八見學團

日本郵船株式會社《長

株式會計劃鮮殖産銀行頭取物多商工會議所副會頭 極尾 貞一 松尾 貞一

坏名所寫眞

氣を呼ぶ

締切は來る廿日 夢を歓迎して居る

自轉車盗み専門

邦人捕はる

反對に戸部に知らし、戸部は ひに大同大街の某工務所へ赴哈爾濱に高飛びする旅費を貰

成松南刑事が十四日午前十時

大阪商議

林業移民上陸 滿州

光岡慈昭師

の口演を

満人信者が聴講 果四道街に本部を置き

號百九千四第

洲事變回

▲七・〇〇常磐津「積機電師 三〇〇落語「目黒のきんま」 「一〇〇落語「目黒のきんま」 「一〇〇落語「目黒のきんま」

十四日來京した大阪商工會議中四日來京した大阪商工會議中東道役の第四師團小田島、所護員視察團は十五日午前八時東道役の第四師團小田島、大路の故關東軍顧問貴志喜四大路の記念碑を参拜王串を捧 り忠靈塔、新京神社を参 貴志氏碑參拜

嶄新の柄 優秀の仕立

服

0

豊

富

陳

列

あ す(十七日)

駆會。陸軍射撃場 ●高楽學校陸上競技、午後一 中、西公園 中、西公園 中校五時 午後五時 一様五時 上映、午 今晩の主なる演藝放送 七百五十萬ポルト除る窟ウファ飛渡上、超スペクタクル 近日公開 旣 製

一七世

を

補

足

3

E

充

2

C 旣

と店

存の

ま 製 す 服

曾富

to to

御 品

度

清 覧 下

3 3

曲

豆果劇場

商業職員家族會

西米陸上競技大會を開催する 可多確生能参加して全種目に て全校生能参加して全種目に ないのでは十七日午後 の家族會を開催する豫定中前十時から牡丹公園で職員都京商聚學校では來る二十日

會合 社**資** 西松 組

旋

して

٤ 求 也

大連市山縣通二番地(東拓ビル六階)

大連出張

(N) II II

五春

泉地

完エ

0

7

"

麗人の源

二〇)と云ふ男らしいので其、原籍廣島の一人。 (捜査の結果、原籍廣島

段本

H 謹

左 告

記之

處

K

移

轉

仕

俠

間

告

也

メイヤ街

込み涙ながらに語つてゐるとで來京、新京署保安係に馳けて來京、新京署保安係に馳け

九月廿一

0

一十二十二十二日間) 雄大絢爛たる

於記念公會堂

たる

男子 (二八) さんを授がして 外暦 (二七) 氏は十日午後九 外暦 (二七) 氏は十日午後九 の時間ひかりで新京に來た妻キ

職を求めて來た

妻を探す夫

實际・松竹と共に本邦舞踊藝満洲建國以來初めて訪れる待望の大

藝術の権成

新京キネ

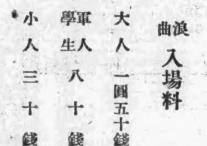
乞御期待 ハンス・アルバ

千年の夢で が實現されたのである



エウルセ・ンヤ シ ンヤシルマ・ル・ヌンエシリオ ンパスリク・ヌ・イニヤジ く指を然情と思のンパヨシ 作賞人ンテトスペ

る誇を屬專がクチイテ 曲浪大の兩萬節一兩千聲一







現狀を語る

日満ブロック

大面に通達した、從來もこの方面に通達した、從來もこの方針を繰つてゐたものであるが地方の各公署等に於て未だ充分散底してゐない所があつたから今回更に嚴達したものである。 満洲に於ける國産自

満洲國燃料國策に

酒精統制を考究

=生産設備の擴充實現せん

日米通商逼迫化の

責任は米國に

昭和十五年迄に一千萬随産出

香港政廳
「東京國通」水澤總領事より
「東京國通」水澤總領事より
大正日外務省に達した公電に

一、アルコール合有量二十五 一、アルコールの一がロン八十個 一等五十三仙、一%を増す 一等五十三仙、一%を増す

(九月共日前場)

海外經濟電報

経斷組織成る

は種 る、之に依り同社の事業計畫 並に 炭ω関愛増産施設に依つて昭 並に 炭ω関愛増産施設に依つて昭 ・金は 出を目標として居るがこれが ・金は 出を目標として居るがこれが ・登金は増養に依る携込み及び であ

大さ、

会会、合

一月服 10%、10 10%、1

甘新

滋養、美味

御座居ます

菓 (切子ラ饅頭

子

各地商品市況 1,40 6,16 9,12 9,28

13日曜祭日十時半映 10.48終

> 九月廿五日 九月廿四日 月

同 午午午午時 後前後後 三九三一 時時時間

九月三十日

新生

引短期 6 れた彼奴 三十絲 松竹超特作・サウンド

吉 新京 原 公 示第二十版

九片云分之 九片云分之 九片云分之 八留比云分七 九井云分之 九井云分七 九井云分七 九井云分七 九井云分七

女殺油地獄 8,04 3.22 4.52 9.34

は近代人の常識です!…
を活動監督が第一ですパテーン活動監督が第一ですパテーンですが

家に一台!

直射式八五マ・三〇〇ワット

大带頭小佈頭

イリンピックニユース

12 10 4.14 キネマ 36.2.1405

水道。修繕並に 給排水設備工事 (3)四三三五番 話③ 四通五 H



 \odot 東一条通管陽点

雜穀質易

御用命の程顔上ますと言ひ申分無き本年の作柄で

京曙 町 柄で御座ります 就

仕上つて参りました品質風味

姉妹品十六モリ用 拾五圓(洲外) (型鉄鉄品) 全論違與材料店にあり

である、満洲に於ける同産自 である、満洲に於ける同産自 である、満洲に於ける同産自 て寒心毒薬に咨詢するが吉 (元元) 18(***18(**) 13(*

6.11 日曜 7.48 り日 3,06

1.29

見

產婆

电影往龄期古 前

田

5

富士町四ノ二八野出(3

一三の七九

第二回

〇〇本

▲上海

大 連

昭和十一年九月十五日昭和十一年九月十五日

意

樣

會合 社資 唯具 一公司精米部 滿洲國皇帝陛下

公主領御狐

地方の政情、

軍狀を

一對し刁氏は 拘らず

(東京図通)十五日暦四年 ・ 一個東部長は「之迄ツ聯側は ・ 未だ綜合的価管の時期に至っ ・ 大だ綜合的価管の時期に至っ ・ 大だ綜合的価管の時期に至っ ・ 大だ綜合的価管の時期に至っ

使犯のテレーク製拿捕事 (成立する事こそ日ソ南) | 大きな | 大

對支强硬策遂行

磯谷、桑島陸外兩局長協議

せを行れ

つた、

念速の進

不當の遷延

高を以て報告するやう最重 を以て報告の為と思はれる、然 は連絡がつき次第眞相を誠 の場と思はれる、然 は連絡がつき次第眞相を誠 の場と思はれる、然

大会車は事態を感よ粉にありません。 大会車は事態を感よ粉に成力 いる事は事態を感よ粉に成力 いる事は事態を感よ粉にある。 にはがい、然し武力 にある。 にはがいる意思は全 にはがいる。 にはがい。 にはがいる。 にはがいる。 にはがい。 にはがい。 にはがはがい。 にはがい。 にはがはがいる。 にはがはがい。 にはがはがい。 にはがはがい。 にはがはが

カレ「強 かに解 決に當られた と不都合権まる回答を述べ告 再び黄氏を訪ひ不誠意を翻詰 の と の と の と の に が に は の に が に は か に が と に は か に 解 決 に 當られた

い」と重ねて駿薫要求

吉竹代

理

嚴重解決方を要求

を興朗するところあ

ぬ」とも傳へられて居り、自然交渉は 速かなる進捗を期待りとして居るので支那側 の敏速な態度決定は全く期待され

し難い状況であるが、 ものと見られてゐる

支那側が

飽迄理由なき遷延

時着手出來るかり

反ソ事件に

籍口し

漁業交

渉を遷延

酒勾出

代理大使、不誠意を難詰

断乎その不誠意を難詰し支那側の猛省を促す

外一丸ごなり

四時特に張群外交部長を訪問し時から總領事官邸で行はれた川越大使、

財産に對する積極的保護の爲

出先三省會議開催

会員は多分十八日となる模様 で協議蔣介石氏に重大語講を 行つた、右に對する回調の到 着を俟つて行はるべき第二大

日の折緬経通を詳細説明、今 である 電南武官を招致須臍總領事、 行つた、右に對する

ル路軍の威嚇に

無能

は、我方としては斷乎實力を行使するの己むなに至關し現在の不誠意なる態度を續け、我方の調査を不

子山

態度を改めざる時は

貫力行使やむを得ず

越大使、張外部長を訪問

重大警告を發す

TRUSTY 海川通照照州連り記 中谷時計を取

滿洲國在外留學生

壁を期す 定

多極に

留學認可制 資質向上指導の完

外留型生に関す

17、留學生の實情は之 に本勅令を制定し留學生たるとを問はず一律 生たるとを問はず一律 生たるとを問はず一律 生たるとを問はず一律 生たるとを問はず一律

本会は気和の日より之を加 本会施行の原現に外國の趣 校に潜學する學生は本令施 行の日より三月内に第二條 の日より之を施

閣議決定事項

事を張調しでア聯に搬正なる 「反省を求め、可及的連かなる 反省を求め、可及的連かなる

意を固むるに至つた

後の根本方針に就き重要協議 を行つた、一方同會見の結果 を行った、一方同會見の結果

交渉内容を中心に今後の對策 首脳部會議を開催、十五日の 日朝来張群外交部長以下外容

北満視察を終へ

歌合長心得を命う) (中央観象台枝正(中央観象台枝正(中央観象台枝正(中央観象台枝正(中央観報を合長)

大連関題)、ロンアルシャンから無数は加興二句 ・ 大連関題)、ロンアルシャンから無地級は旅行を中断して十六 日午後一時三十分大連関策 連したが北端の秋色に感じた を示じればいのは、一般には、1000年を を示じればいりれて を示じればいのは、1000年を を示じればいりない。 を示じればいりない。 を示じればいりない。 を示じればいりない。 を示じれば、1000年を を示じればいる。 を示じれば、1000年を を示じれば、1000年を を示じれば、1000年を を示じれば、1000年を を示じれば、1000年を を示じれば、1000年を を示したが、1000年を を を は、1000年を を を は、1000年を は、1

人事注来

航空往來

◆小島定吉氏十六日午前へへ ・小島定吉氏十六日午前へへ ・一旦の大兵(徳氏少佐)同 ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長) ・一旦の大兵(伊兵曹長)

▲山本利氏(砲兵少佐)同 ▲古畑虎丸氏(通譯官)同 ▲古畑虎丸氏(通譯官)同 ●山本利氏(砲兵少佐)同 ・ルピンへ ・ルピンへ



逸品

話三二八八七番

十二八日分 ・ 一二八日分 ・ 一二八日分 ・ 一二八日分 ・ 一二日(十六日)の分科原談 ・ 一二日(十六日)の分科原談 ・ 一二日(十六日)の分科原談 ・ 一二日 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二日 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二日 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一二 ・ 一

屋客者は次の諸氏が を見られて後一時 をご時 をごり は一時 をごり は一時 をごり は一時 をごり は一時 をごり にした。 は一時 をごり にした。 にした。

東班尾在 主四 人

原版本并 梅服 田 脚太三香 一郎郎失废

の品種農産物加工

とうかを明確にするのが目的 となり、各大 行農審業が不拔の基礎の上に 明春にかけ在 行農審業が不拔の基礎の上に 明春にかけ在 明春にかけ在

「東京國通」有田外相は省内 コ大使権川家正、スキス公使 ほ既に歸朝のため、各大公使に載々鬱劇 朝する皆十五日外務省に報告 大使は今旬の人事一新のため本年末より 堀田正昭の兩氏は去る十日マールーマコア公となり、各大公使に載々鬱劇 朝する皆十五日外務省に報告 大使は今旬の日本にかけ在外大公使並に本 ルサイユを出帆の靖國丸に乗 事官も兩三ヶ に東京國通」有田外相は省内 コ大使権川家正、スキス公使 は既に歸朝のこれの人事一新のため本年末より 堀田正昭の兩氏は去る十日マールーマコア公と

日滿實業懇談會

質問事

開東軍交通監督部長二、交通、通信の部標準系大郎

朝鮮銀行新寫支店長 東原 東原 瀬洲電信電話株式会植養正金銀行新京支店長 東原 東原 北非鐵道管理局長台

朝鮮銀行新京支店長

務局農産課技師古谷謙、 畜産 宅三郎及び園立農事試験場の 寺尾博々士等七名といふ堂々 たるメムバーで一行の内三宅

事變記念日に

(=)

第五十六 相悪 (本郷軍) 大変 (本郷軍) 大変 (大変) は、 一本 (大変) は、 (大変)

段制に改正處、科の二

北支五省の

農業經濟を調査

農林省から調査除派遣

正內容 鐵路局職制改

運送業統制へ

今後 毎年調査圏を組 売を行ぶ確定であるが今後は 水産、山林等の方面にも調査 て初究及比哈の迄隣

全人人 に関し一大農業 商品農産課技師古谷謙・畜産 農 番島農産課技師古谷謙・畜産 農

上海航路に 臨時三汽船増配 (小麥、棉 棉柏等)の出廻 標にあるのと日支側係の急迫 がで動船では現在の配船狀態 では積載し切れず臨時船とし では積載し切れず臨時船とし では積載し切れず臨時船とし では積載し切れず臨時船とし では利金の配船状態 も続する筈で 満洲へ 西、岩橋兩大尉

年末より明春にかけ

大公使大異動

既に續々歸朝命令

事變記念日

記念スタンプ

井局山高結山守大田 土總 橋城本屋橋所 使務本 東郎熊和忠耕 本部 長郎順次一郎一転 **手形交換高(共日)** 第三三章女 やまとくまりが元 章 をとしない人」では四日や 新京取引市況 (九月天日後端) (九月天日後端) 出来高 出来高

大東部金銀精錬廠長四、鑛業、工業 **州**電業株式會社 業の部 日精精羊協會 滿鐵公主樹養 桶州特產中央

五樓 204,000 → 1

の如く致令された 関朝したが十五日 関係の精華を世界 に祈の精華を世界

海外經濟電報

九月其日後場

警備團が演習 郷軍三千を召集 小生に對する。 別待しておつた いふ名の下にわ いる名の下にわ

生に對するお答へは放送に別受けるものとびそかにしておつたか、一端人とは、いささか驚くと同い、さまで苦しんで投書され、さまで苦しんで投書され、アツサリと答へてもなみに関係としたかつた。その上端人でも恐らくろへてもない、アツサリと答へてもない、アツサリと答へてもなんでも恐らくろへてもない。アツサリと答へてもない、アツサリと答へてもない。その上端人でも恐らくろへてもない。

ルに伴ひ水準處を新設、營業 科、船舶料を置く事となつた 制を新設費としては總務進収 費計、審査、調度の四科が置 かれ全面的組織を整備する事 となつた

創立總會を終った無許拓殖股 神有概及司建率最二、海海重、 同理事渡漁體日子、同堤永市 高元勲の六氏は十六日挨拶に 本社へ來訪

特殊會社に依つて

挨拶に來社



相場中 不 向 寄 (短期)

は木村部酸附となったので近く離洲へ出動するであったので近く離洲へ出動するであったので近くない。 下二日健康にあたり挨拶に來 村橋 合協幹事 來、社 台灣野球脚を引率來京した台



變滿

五

の黎明に五族撃壌歌

居る、又在講師人は舊軍伐時代はその背斂誅求は勿論、不法地主の非人道的脈迫に依り飛在に於ては精洲國傳成分子として齊しく建國の聖樂に多として齊しく建國の聖樂に多として齊しく建國の聖樂に多

照河 宣言、來賓として板垣会謀長中に 氏の承徳地區修備軍本部結成中 原澤部員結成經過報告、種市中 原澤部員結成經過報告、種市

日満實業協會總會で 板垣參謀長講演

▽佐藤満鐵社員の苦心秘話△

村大尉殺害の

1年19度くてのんなりする単立

一水人水式快遍在乘心地

V変形集器エンデンの最大な出力

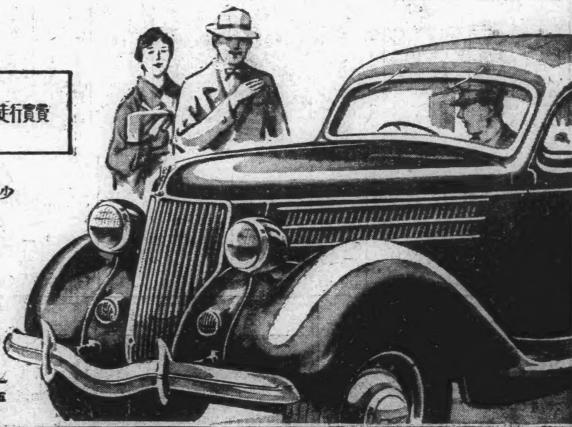
*車の出版る機械式艦安全ブレー

走行實費の最少な大衆車フオード Vー8 真に自動車の經濟を型定するには次の公式で 走行實費を算出しなければなりません

【最初の購入費 + 金利 + 維持費 + 建築費 - 下取値段) ÷ 走行理数 - 理當りの走行賞賞

フォードV-8の走行實費は上記の計算により凡ゆる大衆車の中で最も少 額でありますから營業用にも自家用にも最も適した經濟車であります





報に就

新京中央局受配課長

三、漢字電報は、漢字を電報所属に依り数字に飜譯して開報新編は電報局に備へ付けてありますが、發信電報の請譯して一個大学では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報の表別では、漢字を電報に表別では、漢字を記述している。

へは和文電報の發信が出来

電報を設信される場合

居所氏名欄には漢字を以て の相當欄に配載し、数信人 に通知される方は本文宗 人に通知される方は本文宗 人に通知される方は本文宗 人に通知される方は本文宗 を以て受信人の后所氏名及

、上海 青島、北平、天澄 一銭を敷きます 一銭を敷きます

を報(和文 一語に付金六峰 を報(和文 の金八峰 を一般文の金八峰 を一般文の金八峰

四、國際電報は各地方に依り倒奏を付係又は電話に依り御奉を付係又は電話に依り御奉を付係又は電話に依り御奉を持たる。

0 0

□ ニュース (東京、新京) (大連・統済市況) (大連・統済市況) 「大連・統済市況)

語分の料金を載きま

家 庭 に健在である事を讀者諸兄と に健在である事を讀者諸兄と 共に天に感謝したいと思ふ、 病院長は名醫の譽れ高い陸軍 だつた、古賀夫人のこの不幸 だつた、古賀夫人のこの不幸 だつた、古賀夫人のこの不幸 だつた、古賀夫人のこの不幸 だつた、古賀夫人のこの不幸 たかつた事はせめてもの喜び なかつた事はせめてもの喜び なかった事はせめてもの喜び なかった事はせめてもの喜び なかった事はせめてもの喜び なかった事はせめてもの喜び といはねばならない堀江博士 といはねばならない堀江博士 といければならない堀江博士 といければならない堀江神士

古賀大同艦長夫人遭難記

で「手術しなけっ

らぞ ても實施迄にはかなりの時間 も尚 ろか男性でさへ之程心を聞さ るの した、何しろ設備の不完全な ところ丈に手術の決断がつい をころすに手術の決断がつい

ない態度で手術蛋上に横つてない態度で手術蛋上に横つて

御願ひし

古智

- 當時の

模様を聽く

鑑。

D

右。妻。讀。本 結婚後の姙娠率は

押して女丈夫の関係を

(可認物便郵種三第)

一年以内が断然トップ 理由は極 めて簡單で を掴みえないものかなら何か夫いものは、そこ

ものか。で

而であるが、生産費通の砂糖よりも味が

から拵へ方を申上げませう。 と恰度よいお献立になります

鰺胡麻醬油燒

人 () - 1 - 1 年の もの … 九人 () - 1 - 1 年の もの … 九人 () - 1 - 1 年の もの … 九人 () - 1 - 1 年の もの … 三八人 () - 1 - 1 日 - 1 の機會でも姙娠するのは極め で自然であり、從つて結婚後 で自然であり、從つて結婚後 で自然であり、從つて結婚後 活して尚ほ姙娠

味覺をそそる

新鮮な香氣 果物の科學) %位のもの。型では矢張葡萄糖と果糖が主である。置相も間様で殆んど果糖と葡萄糖、柿に於ても同様で葡萄糖と果糖と葡萄糖と果糖と 占めてゐる、皮や種を除いたと謂れる一般的な林檎では、ど謂れる一般的な林檎では、 いふ)や果糖が主で一九

長近必要品として攝取されるであるといふことが、果實の 糖分は即ち果糖といけれる。 物の味は程よき糖分と酸味の 即ち果糖といけれるもは程よき糖分と酸味の はデキシトリンが七ーーとが 位あるが、これは澱粉の兄弟 分で糊精といはれるものである。蛋白質は八ー一〇%位ある かでまないのである。その他果に はデキシトリンが七ー一七%

急速に肌は滑らかに白く を一日二、三回行へば、 を一日二、三回行へば、 表である。福福には酒石のものである。福福には酒石のものである。福福には酒石のものである。次には一つ量の林檎酸やタエイン酸が含まれてゐる梨は有機酸としては本檎酸が主で、タエインでは本檎酸が主で、タエイン

秋の果物は濃厚でな 割合に禁事 L 榮養的なものと相俟つ 力香が糖分だとか酸類の × 多量である 朝

なさるやう。 なさるやう。 なさるやう。

35

曜

きます。そして交見に、私がは、この一定期間には良いの一定期間には良い。

がは狂はしい を求めてゆ を求めてゆ

まにあつて効果的でありよき簡単 / に入つてより、こなれた状態 ー に入つてより、こなれた状態 ー に入つてより、こなれた状態 ー にあつて効果的であり果實酸 ・ こなって

一美 秘 に続けて 一次 所と脂肪で が 一 に で これた で で に で に で に で に れた で に な く 返すた

なります。

には変尾期といませう。

坂野比呂志さんの熱演

により田谷力三氏と共に浅草 まで護く、その後金龍館に逃 衛集團を組織活躍し来つたが 本年六月新京會館演藝部振付 となつたもので今晩の漫譜は となつたもので今晩の漫譜は となったもので今晩の漫譜は となったもので今晩の漫譜は となったもので今晩の漫譜は となったもので今晩の漫譜は となったもので今晩の漫譜は となった。

新京看護婦會

裁縫教授

第門不二 大 無 堂 第門不二 大 無 堂

写真技 「一修整出張っ ・ 日本橋新京ビル 「得意な方」

性立書間 部御教授人

ふ の番組 七新州

三二引ニー・ 三 三〇 經濟市 0111.E ニュール (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京、新京) (東京、新京) (大湖、新京) (野語) ジャズの世の中 時代は變りすべてのものは改 造出來ないものは人間製造これはまだ聞いた事がない、然

鯉川戀香さん

七00

一日の時間(大阪) 一日の時間(大阪) 一日の時間(大阪) 一日の後間(大阪) する事をやると云ふんですから我々頭の足りない人間はすべからく製造率は少くなつて べからく製造率は少くなつて であると 真物皆機械 、する事をやると云ぶんですかりでは人造人間なんてものが 製造され何事もこれが人間の がある。米間あた

記(東京) 一般(東京) 一般(東京)

本調子「浮氣同志が、ついからなつで、あゝでもないなったがあったぎるよりををなく、アレ聖かしゃん んは本名清水スエ

本調子「磯で名所は大光線なサインヨネ松が見えます」はのぼのと松がネ見えます 後七 . 三〇

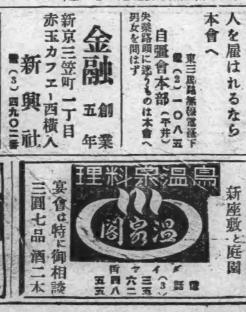
3 心配 ともに私もイソ街 も心配」ともに私もイソ街 心配 新京より

0

3KHHO福海商事 を融即時、 金融即時、 を融即時、 鍼灸術教授

親町二丁目五ノ四線ベレス前 神谷裁縫専修院 神谷裁縫専修院 電話上金融 監 時、長期、 てきまて 入員券債業勸と債公 五ノ三町船入京新 會式株融金

宴會也特上御相談 三圓七品



新座敷と庭園

本會へ

あたま

来松接骨院 水松接骨院

四五二八卷

新京東三條通五四 行

一陽堂療院 電話3五八二九巻

のでお恥かしい次第です、
っなく私の油跡から起つたも
全く私の油跡から起つたも れ以上はお聞き下さいます セ 四〇 勞働民跡 (大阪) ・ で明け 宮原 康郎 ・ 一、夜明け 宮原 康郎 ・ 外五曲 ・ 外五曲 ・ 外五曲 ・ 変別け 常 前田い 北マー○ 漫 談 二回新人放ぶ 東京京無線

と結んだ、その言葉や態度は く静かなものだつたが、流石 に何處かはつきりとした氣象 の程が窺はれるのであった 慈姑のきんとん

八、〇〇 落語(第二夜)

人の姿を想像し乍らなく現れたエプロンなく現れたエプロン な主人公の係は何虚 が妻姿で、あの凄惨

八三〇時報、ニュース (東京)

日本を表示である。 日本を表示によります。 日本の表示によります。 日本のまり、 日本のま

を聞くべくハ 来意を告げると を聞くべくハ 来意を告げると を聞くべくハ 来意を告げると を開くべくハ 来意を告げると を明くべくハ 来意を告げると を明くべくハ 来意を告げると を明くてとを得たが を開くことを得たが を開くことを得たが を開くことを得たが 一、空や久しく 一、空や久しく 一、空や久しく 四三二

胡麻醬油の中へ拵らへた修 を漬けて線き、茗荷の子を三 杯酢に浸しておいて添へます ▲里芋あべ川

まるめて寅粉にま してまぜ合せてつ してまぜ合せてつ 蒸すかしたも 壁 適 量

村初太郎さん

小说明证

新京より 三味線は田村小初さ

一、里芋あべ川 ・ 里芋あべ川 ・ なことに喜ばれる品でございます。種々と工夫して趣を

【材料】(五人館) ・ 名荷のん ・ 三 内 ・ 三 内 ・ 三 内 ・ 三 内 ・ 二 三 内 ・ 二 二 内 ・ 二 二 内

が、この中にはヴィタミンB は森に柑橘類に含まれてゐる。 は森に柑橘類に非常に多い。 と等秋の果物は内地に豐富で その價格も議別品を制限して あるが、これらのものをスト ックしてジェリーを作るとか の含有してジェリーを作るとか

のに現はれてみたら あるが、加工品に である。 異すること かるが、加工品に あるが、加工品に ない様である。 林 ない様である。 林

カなどいふも か、林檎の計 などいふものは ななどいふものは などいふものは などいふものは

四、編編を入しく一、一次を中外しくのび上りので上り る節を夜の秋錦

夜四第「送放人新」離社 師に江戸小唄を修業してをら で清元延豨壽富美師に就き清 で東まり當地の田村小勝

対には日村村村本郎さん) 対三曲を放送するが、 強味器 かなるところが離かれよう (を表して)

東三馬路無線電極下 東三馬路無線電極下 東三馬路無線電極下

九州堂療院 九州堂療院

並に二等米

教育本祭町三人

あんま

昭和洋行 **詩司米** 在庫

話。四九三七へ

〈船町三丁目二三

融

さして、「きがいっきんとん」と申します。このお外のさんとんだよ」とか「ところが、その出典によくまが発まないお方をのました。」といってものが大型ないのつてものが大型なが、その出典を申しあっことを「激站のきんとん」と云ふか、その出典を申しあったとを「激站のきんとん」とかったところが、その出典を申しあった。このお明の本書の題は、するが、その出典を申しあった。

大和通元 新京館

高 **御下宿** 一、場所富士町二 、各室六疊 10 号付

生田流當道會

婦を求む タイピスト

党してゐる二十一才へ寫眞は からは右の外俚誠も加へて研 がらは右の外俚誠も加へて研

落って 活 語

〇〇東京より

れる古都

もりて草の穂先が空を限りぬ 哲垣輝安

たの秋を一生として死にてゆればなら以虫かな際のあわ

第 (342) 鹽谷壽石

を間機の震はす機の館かな を 神 第 天 を 神 第 天 を 神 第 天 を 神 第 天 を 神 第 天

はに石竹の花は押されてあり

斜病柳花·般一科外 器魔該展入·斜病門肛





□親 切 叮 嚀 田 稽 古 致 します 授 美



八六五 大大大 大大大 四三二

柄新

/美康健く輝に頬らか自・せまし召にさよ心の風秋

台明

賞點百 附添



納洲代理店 東

田

商商

岛 院

三二九六

●廣告の御用命は!!!電話三、三三〇〇番へ0

定價壹圓• 送料十六錢

の治明 か明治キャラメルを差し上げますに引煙に五銭の明治チョコレートに引煙に五銭の明治チョコレートに引煙に五銭の明治チョコレートに引きたなれば直ち最新りの明治の菓子を販賣するおりでは、

かんづめ・びんづめ・アラレ・めいさんちんぶら 喰物なら何でもあります・・・ 御贈答に御土産に最も喜ばれる 包裝のまゝお切り下さればお手も汚れず揚子もいらず衛生的に召 裁量美にして破損の腐敗の恐れなく選方の御土産等には最適品れます風味頗る住良にして日持良く極めて理想的で御座のます 大学美術の帰る三本箱人二、〇〇〇 味のデル

◎満洲婦人用新柄◎一般婦人用新柄◎一般婦人用新柄門門里田に御高麗の上お野柳店門面は御高麗の上お早が網接響ください 即 度 服 生 日 電話③五八四四番 地

路洋 本橋通 大三 行

有品造僞 脱 新 薬 那 7.1 c 10管入 五〇元旗入 一五。瓶入 三〇公瓶入 当の 10 い、一い西管入 注射液 三00餘 包 一〇〇段入 四八

官場現形記等

て文に向って言った。 「あなた方のために別に船を で今日早連船を換へて下さい 今までの船は賊船なわけです

防院總務廳情報處編纂

廢後の新 鋭滿洲

威容を見

明 文

大連市

丹後

M

たへ衰せ痩

学供の駅の解集には取組な念性 との電配まで組みあります。近雲。 との電配まで組みあります。近雲。 に臨の自家中電短といふのも、専 たれは然が出て、重くなれば顕近 たれば繋が出て、重くなれば顕近 たればなる。 でする。

秋口に罹り易い 腸の病氣

では、対量の機能の上にのがが、対量の機能の上に、対量の機能の上にのがが、対量の機能の上にのがが、対量の機能の上にのがが、対量の機能の上にのがが、対量の機能の上にののがが、対象のである。 これは季酸の かっぱり 目には、対量の機能の上にののがが、対象の上にののが、対象のである。 最近療法が變化して來ました

子供では、その影響も大きく、戦 って背脈をこはすことも大人に比 して進に参数であります。

抵抗力の弱い

若素(わかもと)を順用しますと、これ、緊急情趣のはなる。 もし、既になつても食数の増さない。 もし、既になつても食数の増さない。 もし、既になつても食数で強っない。 を方がは、なほさら食数で強の効ある若素(わかもと)を服用することが、 ないなの成分を含んだ存然を乗です。

常用してゐる方も際山おありですがな過ちを犯さないことです。とれにはな過ちを犯さないことです。とれには

をこはして、却で観彩を載くするやう をこはして、却で観彩を動くするやう がのあるに楽じて、つい平生よりも多 がのあるに楽じて、つい平生よりも多

だい。 対数が野大な使用をもつてあるととは軽すまでも、 対数が野大な使用をもった機がのできなで用を に関まされてみた機人も、 致いともに食数が出てまるりま が、 これは結核治域への大き

9

常識

に因る。

与

た布で磨く

(大)

が、これは部の影響のですが、これは部の影響のですが、これは部の影響の がいましたあとは、ある がいましたのとは、ある

早く食物を

藥儲含定指院病學大國帝各 17 10 17 10 Av++5 0 榮養不良に 血液淨化·細胞賦活 近血アウトホルモン 食慾不振に 店商吉安澤麗 社會式快 中水田東北日田東 日本建設東京大

この音楽へわかもと)は東京芝公 、東京一七〇〇香)から三百婦人、 千般人の二種が一日四五銭にも常 らぬ魔機で発費されてゐますが、 近來その整備を利用して類似品を 地蔵する事にもありますから鎖 が性数する。 青端初間、中華民國 の各知識ほでも取次収置して用り

何が止まるとかいる間部的の効果 ですから修べば胃臓病の人が用

引換券を御活用下さい

製役へ立版など不整役へ間

教育資料會

服けべく抵制に批争して、これを設する。 を関係の為めに表徴してもた。 を関係の為めに表徴してもた豊雄ので、 とれを服用しますと、網膜や繁養 の配数が経力を軽へて、健能を設 をし、かくて旺盛になった配慮が、 を対し、なく、 を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがし、 をがし、

サフラン

全健康要素を完全に 仁丹は、一等々と 具に、仁丹は三度 無病の方にも全般的にその綜合 3

果會觀劇ノ時

を用活御の丹伯

前食

後

悪疫流行ノ時 船車旅行ノ時 執務勉强ノ時 ロ中悪臭ノ 疲勞倦怠ノ時 音楽ラ使フ 運動散歩ノ時

0

13

H

とな



經濟的な徳用叛人を大

路馬南站八市资配。 町茂加市天奉 處銷分 部丹仁社會式 株裝賣本日 町速波市連大 處理經總 房藥太博下藥 最大·本田 行發籍

として

义

大

通不便を安すので同線中へルピンー佳木斯間に毎日一 住復を増し一般貨物旅客郷 で、ハルピンー佳木斯間に毎日一 が、カルピンー佳木斯間に毎日一 が、カルピンー佳木斯間に毎日一

五、承徳一林四一新京線へ一 一本の部別更) 一本の部別を承徳的設 に、永徳と赤峰、林西方 とし、永徳と赤峰、林西方 とし、永徳と赤峰、林西方 で飛び軍事、

市内各小學校で

學生の讀

一熱は依然貧困!

一番多

讀まれるか

地方色を明瞭になってか今迄一番多

記念句間實

からずの飲食物等を

(B

オリムビックの收獲は

日本人は未だ問題にならん

世だけぢゃ

ラソン王怪氣焰をあぐ の

いついて語つた

廿五粁のコースに熱戦展かん

きのふ競技規定決定す

本を宣することあるべし 本代表と見審判の命に從は ず違則の事ある場合は出場 チームの出場停止又は失格 歴援は酸禁 ある。 金泰洋行▲新京朝等した。 ある。

州外蒲線中等學校睦上競技大 會はいよく 来る二十三日午 前八時から奉天國際グランド にて華々しく舉行されるが新 に就くことゝなつた、なほ當 日の大會種目は次の通りであ 外中等學校 商業初參加

思信する積りだ
を基場に送る様なものだ瞬
を基場に送る様なものだ瞬
でたら文部省にやかましく 印刷物一千部 に富るべからず がなった、なら 相撲大會 満鐵各寮對抗

30 台所の 婦人團一行 きのふ南嶺淨水池 心臓を見

「窓賃はマラソンコース)

見學の

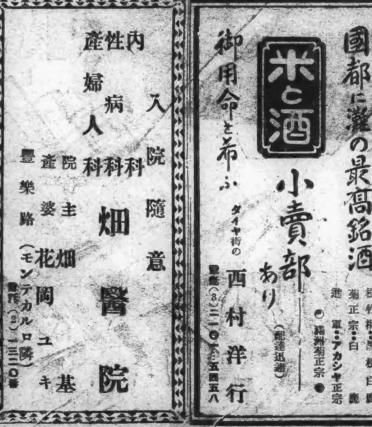
の皿盛り

3333

20000







事態に因んだ展覧會等開催事態に因んだ展覧會等開催事態に因んだ展覧を希望してある、作品に鑑り市内八の参觀を希望してある、作品に依配さすため。 智学、園園の三種類で各校各に依配さすため。 智学、園園の三種類で各校各に依配さすため。 智学、園園の三種類で各校各に依配さすため。 智学、園園の三種類で各校各に依配さずため、 智学、園園の一種類で各校各に依証するが展覧。 一観る、一従来この讀書はそのたが、蒋鐵新京圖書館における最近の讀書の傾向を調べて 一 好の頃となつ

校別に盛大に開催、市民多数 を見童の胸底に銘配さすため 別の諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を舉行するが展覽 かの諸行事を舉行するが展覽 かの諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を舉行するが展覽 の諸行事を思行するが展覽 の諸行事を思行するが展覽 の諸行事を思行するが展覽 の諸行事を思行するが展覽 の諸行事を思行するが展覽 の語行事を思行するが展覽 の語行事を思行するが展覽 の語行事を思行するが展覽 の語行事を思行するが展覽 の語行事を思行するが展費 の語行事を思行するが展費

州航空ダイ

に伴び一時間級下げと 一日以降は満洲標準時 管爾競大連行―毎日 ・ 本爾日片道 ・ 本爾日片道 ・ 本爾子―毎日 ・ 本爾子―毎日 ・ 本爾子―毎日

日。實施

なる地方この連絡

八日補連

新義州青午

紳士婦人用

外國製-流品質の最新流行型

最大最古の百貨店

お惣菜の店



海松 正 竹

門店清眼堂で

内は強しく関って弊はぬ気でゐて

其夜も更けた北瀬の頃ほい。日

ゆかゆから成む、触の疲れてゐる

長端へ用のものが絶滅さん

で五左節門お志事を被したところ

変後の意識で聞け返れてゐる。

どうも始末に住けません、復献

は話し気がした。

た。手響は前から 素 く打合し した。手響は前から 素 く打合し

は何らにも出方が照りものだが、つく、具体であると、かられてもそれはどうでも流はでいまた。 一般は何らにも出方が照りものだがなりをして所がのが、及ったがってから裏木戸をあけて京城を開かって形が、人っを打っている。本のである時が、人っを打っている。本のである時間の対域を開きます。他方は日光の関うます。他方は日光の関うます。他方は日光の関うます。他方は日光の関うます。他方は日光の関うの要素の関うます。他方は日光の関うます。他方は日光の関うます。

朝戦なく

次して痛まめ

靴むれ、はたけ、に

皮、性病科 一、性病科 一、体育科 一、体育科 一、体育科 一、体育科

身タムシ、

水虫

きび、蚤、蚊、南京虫

制

に滲みとほる

効きめが非常に早い

三 **五** 十

3 1

つけて汚れず皮もむけず

皮膚チャージの特色

を別して高戦でございます、管験 が他や似に至るとのは一人も激足な姿 がなしで励るとのは一人も激足な姿

ったが、海走りをするのにまさ

一節で、呼吸を持つて生くとい

他へても行けめえゆうするのだし

は耐寒で、髪が低で塗るか、皮が影響ですり

皮膚チャージは理論はむづかしいけれた他用法

* 4

日本東京 四大七日

不關嚴告一手取

がをしであるものは一人もあ

して夜泉から出戸を介へ出し、枕

見ると影響を肝酔けた淋には支

『徳蔵さん何権へ』

つてるた。一緒に行くよ

10

(八)

鉦 脈

一演 郎

何れも他是なく懸込んでゐる、お の側るほど低しかつたのだから、 と選く笑つて、今度は一女部屋

お聞がいつになく世際が好いと

なりませんから、立たらとすると 郷のまから、立たらとすると 郷が気になつて 何の かがく しかし の 便所なら私も俗様化からと思 い、職子を開いて見るのは酸のた の枕元で類に無を動じて居るらし の枕元で類に無を動じて居るらし

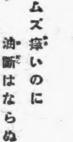
4 ズガユキ悩みある バイキンの単窟 『皮膚の内部は』

でなけれ ほんとうに

は

6 ぬ

然のことです。 然のことです。 を が外類は、皮膚の 業を 旺にし が外類は、皮膚の 業を 旺にし **産暑から初冬にかけて** 皮膚の病気が増加するのは質 皮膚の榮養を旺にして、寄生虫に美味しい食物を提 微な埃は、パイキンのためには快い温床となり、暖



を育のAズ群いのは、背景の気にはじめるからです。それを爪で掛けば、豊阪のために炎紅を埋して、解髪が聴化しますから、若し痒いと感じたならば、皮膚チャージ溶液療法を行って、膨性皮膚病を埋しまって、原生のでは、大きないない。

たむし、 靴むれの季節 水

ンが使んして、漂ろしい飛行や財産能になつて命を撃に皮膚病として悩むばかりでなく、悪性のパイキ おと十年がしばるしありますから行為しなくてはな ん、飛むれもます(多くなります。これ感は、たむし、水虫はこれから強へるばかりです。いん

寄生虫は、この中に経緯にトンネルを掘つて住み、腹に見える外部よりもむしろの間の方が大切です。腹に見える外部よりもむしろの間の方が大切です。皮膚飼は、根袋に厚みをもつて四ます。皮膚飼は、 パイキンは、枝は枝を張り、子は子を生んではびこ 植医院 安建屋原外 內科·花柳病科 電話 第三十五八八番 第三十五八八番 第二十五八八番

K

キンは

段階の深い所に居る

8三一三一人一 小温素町一丁目

花 柳 病 科 科 新京清和街七〇二 新京清和街七〇二 (白樺森南三丁)

電話二—四八九六番

行洋谷水

餌痢酸下一

中コ過痢般 毒レ多急下

中チ性カ腸

毒ブ便タ酸

包

症慢痢

婦人科(病室完備) レントゲ 胃腸病

展院

電新 新多三八三九

医院

最話(3)三日本橋中谷時間

時計店向人名

差層 婦人科、物族科、衛科

國都著名醫院案內

某商店。整理品

破格の値段で賣盡

します

陶器、

其他種々

新京西五馬路 (大昭旅館画り

₩ 新京與 T 小兒科 專門

順天医院 電話3三一七一章

院長 河野五百里

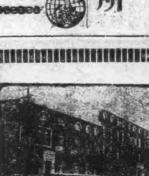
田島静子

所刷印田花

瀛









◎◎◎◎ 閉 御ヲ凡塩明大靜 來期テ球朗小ナ 館シ近場ナ各ル 程斷設房場洋 グ御室殿 トリ家八堂 テル族十 シスア食風余

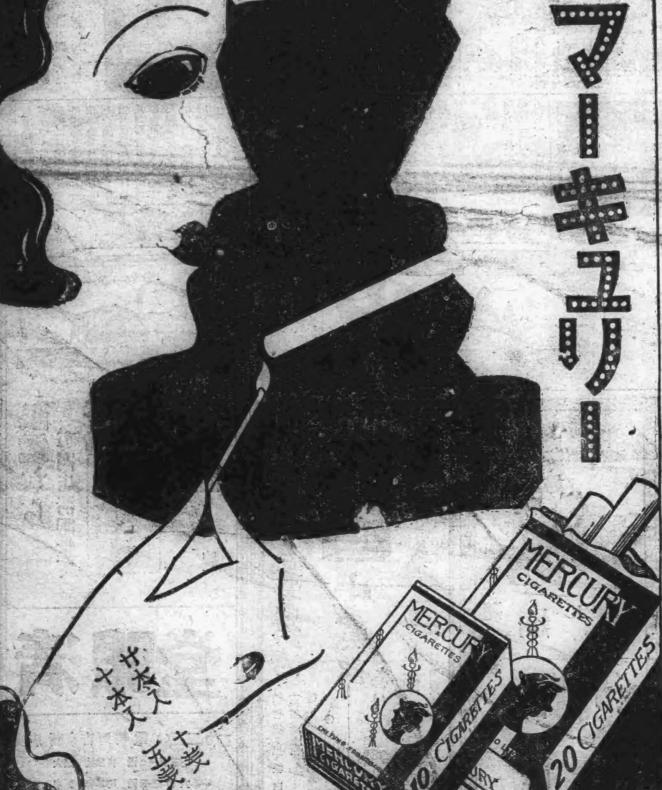
盘吕盘 ビ等ノ (i) 有

清 風寮 別 館

整腸新薬 等ス秘ル酵食疫胃急 裝 锭黑 錠 白 - 五-00=ボー 0000九 数数数数 ADOS **経スードア**京都 店商吉友澤藤設

糖衣

黒銀



だが、実験の行者旁切のところにお恋常の秘密には離らるない様子 しませんが其意味で依うと他つためにも関しくないと思ひ、見は歌 「ハンアお銀がゐないと思った 渗透療法劑 皮膚チャージの真似

気がなほつても、再載することになります。 や、パイキンを剥すことが出来ないので、一度は観 で、パイキンを剥すことが出来ないので、一度は観

應點 特別市永康莊二五 一二九〇番

月巴 小狗小花童 兒 外朔 月 外朔 月 科科科科

優院

曜

一つすがだを見て来る。 一つすが見て来たばかりだよ、 一つすが見て来たばかりだよ、

不力

(8

も黙若も共に伝統して使用し、報酬だな結果を修て すのは、皮膚が治療上絶黙に必要なことであつて、 で膚チャージは化作用に較に勝つて図るので、健師 皮膚の説都に参みとはつて、パイキンや寄生虫を数 ようこんで居ます。 暖い表皮を掘逃し、狭い皮脂腺や形穴を得はつて

ムズ痒い皮膚病全

幽 建 全 婦 所 人 科 科 科

智院

皮膚科 性解科

進プロタカ